

平成29年度
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

事業報告書

(法人本部)

社会福祉法人 誠和福社会

理事長印

平成29年度事業報告書

社会福祉法人 誠和福祉会 法人本部

1. 法人の名称及び本部所在地

名 称：社会福祉法人 誠和福祉会
所在地：伊勢原市沼目2丁目6番3号

2. 法人の基本方針及び定款に定める目的

■基本方針

「ひとりはおみんなのために、みんなはひとりのために」

■定款の目的

この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的とする。

3. 法人が実施した事業及び施設名・事業所・事務所等

| 実施事業 | 施設等の名称 | 所在地 | 事業の種類 | 定員 |
|------------|--------|---------------|----------|-------|
| 保育所の設置経営 | 伊勢原愛児園 | 伊勢原市沼目2丁目6番3号 | 保育所 | 90名 |
| 一時預かり事業の実施 | // | // | 一時預かり事業 | 10名程度 |
| 保育所の設置経営 | 比々多保育園 | 伊勢原市坪ノ内80-1 | 公私連携型保育所 | 120名 |
| 一時預かり事業の実施 | // | // | 一時預かり事業 | 10名程度 |

4. 理事・監事の氏名等

| 役職 | 氏名 | 備考 | 役職 | 氏名 | 備考 |
|----|------|--------|----|------|------------|
| 理事 | 石井誠一 | 保育所園長 | 理事 | 石井和弘 | 法人事務局長 |
| 理事 | 高橋仁史 | 保育所園長 | 理事 | 畠中治知 | 元小学校長 |
| 理事 | 高橋秋男 | 元会社員 | 理事 | 細野育夫 | 公民館長、元小学校長 |
| 監事 | 亀井 暁 | 元市役所職員 | 監事 | 梶山春雄 | 会計事務所所長 |

5. 理事会開催状況

| 期 日 | 内 容 |
|-----------------------------------|---|
| 平成29年5月30日 出席理事：6名 出席監事：2名 | 第1号議案 平成28年度事業報告及び決算報告 第2号議案 平成29年度 第1回補正予算の件（本部、各施設） 第3号議案 定時評議員会の日時、場所、議題等 |
| 平成29年6月16日 出席理事：5名 出席監事：1名 | 第1号議案 評議員会における役員選任の報告及び理事長の選定 |
| 平成29年12月18日 出席理事：6名 出席監事：2名 | 第1号議案 県及び市の指導監査結果報告の件（法人・施設） 第2号議案 各規程の変更の件 （経理規程、就業規則（給与規程、育児介護休業に関する規則）） 第3号議案 定款細則の変更の件 第4号議案 補正予算の件（本部、各施設） |

| | |
|----------------------------------|--|
| | 第5号議案 比々多保育園の人事の件 第6号議案 理事長等の職務執行状況の報告について |
| 平成30年3月26日 出席理事：6名 出席監事：2名 | 第1号議案 平成30年度予算及び事業計画の件 第2号議案 平成29年度指導監査結果報告の件 第3号議案 職員の退職及び採用の報告 第4号議案 理事長等の職務執行状況の報告について |

6. 評議員の氏名等

| 役職 | 氏名 | 備考 | 役職 | 氏名 | 備考 |
|-----|-------|--------|-----|-------|-------------|
| 評議員 | 小澤 和博 | 元市役所職員 | 評議員 | 安田 博美 | 民生委員主任児童委員 |
| 評議員 | 今井 勝重 | 元市役所職員 | 評議員 | 市岡 広美 | 元民生委員主任児童委員 |

7. 評議員会開催状況

| 期 日 | 内 容 |
|-----------------------------------|---|
| 平成29年6月16日 出席評議員：4名 出席理事：2名 | 第1号議案 平成28年度 計算書類及び財産目録の承認、事業報告の報告 第2号議案 新役員（理事及び監事）の選任 第3号議案 役員報酬基準及び旅費規程の承認 第4号議案 社会福祉充実残高について |

8. 監事監査の実施状況

| 実施日時 | 監査担当者 | 監査結果 |
|------------|--------------|-------------------|
| 平成29年5月26日 | 梶山春雄 亀井 暁 | 適正であった（平成28年度決算分） |

9. 法人及び施設監査

| 実施日時 | 監査対象 | 実施者 | 監査結果 |
|------------|--------|------|--|
| 平成29年9月26日 | 法人 | 伊勢原市 | 特になし |
| 平成29年9月26日 | 伊勢原愛児園 | 神奈川県 | 現地において職員が口頭で指摘した事項 「育児休業・介護休業の規定に関して、育児休業・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律に準拠していないので、改正してください。」 (対応) 平成29年度第3回理事会に於いて対応し、労働基準局に提出した (平成29年12月21日提出済) |
| 平成30年2月14日 | 比々多保育園 | 神奈川県 | 特になし |

10. 法人をめぐる事業環境・経済環境の状況（法令・通知等の改定を含む）

(1) 当年度の事業の経過及び成果

- 法人運営及び保育所運営共に、一年を通して順調に推移した。
- 保育内容や行事についても事業計画に基づき計画通りに実施できた。保育所経営の面では、各施設とも

安定化と強化に向けて前進できている。

(2) 当期に発生した重要な事象について、その内容・事業経営への影響に関する説明、及び、当法人が扱っている対策

■特になし

(3) 法人の事業に関わる重要な許認可及び重要な契約に関する事項

■特になし

(4) 当年度に行った重要な設備投資及びそれに係る資金調達

■特になし

1 1. 来会計年度以降において取り組むべき重要な課題とそれに対する法人の戦略・計画

■施設が1つ増えたことによる、人件費や事業の収支のバランス等を考えながら、経営の安定化と強化を進める。

■行政等との話し合いや情報収集に努める。

■次年度においても保育理念のもとに、運営や経営の健全化、透明性、保育の資質向上を図り、地域の子育て拠点としての役割と使命の遂行に向けて一層の努力をして行く。

■保育士不足の中、職員確保には苦労しているので、早期からの採用活動を実施していく。

平成29年度
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

事業報告書

(施設 伊勢原愛児園)

社会福祉法人 誠和福社会

理事長印

平成29年度事業報告書

社会福祉法人 誠和福祉会
保育所 伊勢原愛児園

1. 概要

事業計画の保育理念、保育の基本方針並びに保育目標を踏まえて計画した事業を推進し、子どもたちが健康、安全で、情緒の安定した生活が出来る環境を整え、健全な心と体の発達を図る保育の充実に努め、また、各行事も概ね予定通り行うことが出来た。

子育て支援については、一時預かり事業や地域育児センター事業等、地域の保育ニーズにも積極的に取り組み、また、保護者支援として、保護者アンケートの実施や個々面談等積極的に行い改善に取り組んだ。

また、地域交流としては、近隣の小学校等とも連携を図り、子どもや職員の交流を行った。

2. 保育園の運営

(1) 児童の処遇

■定員 90名

■開所時間 7:00~19:00 (有料延長保育時間18:00~19:00)

■保育時間 8:30~16:30

■年間入所児童数

年度の当初は定員を割れていたが順調に増加した。全体的には例年よりも少なかった。

今後、市内の保育を必要とする児童の数は増えていくと予想されるため、さらに定員を超えた入所を受け入れていく必要がある。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|------|
| 0歳児 | 3 | 3 | 5 | 6 | 8 | 11 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 108 |
| 1歳児 | 13 | 14 | 15 | 16 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 178 |
| 2歳児 | 16 | 17 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 213 |
| 3歳児 | 15 | 16 | 16 | 16 | 16 | 15 | 15 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 189 |
| 4歳児 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 17 | 215 |
| 5歳児 | 22 | 22 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 254 |
| 合計 | 87 | 90 | 93 | 95 | 96 | 98 | 99 | 100 | 100 | 100 | 100 | 99 | 1157 |

(2) 保育内容

保育理念、保育の基本方針並びに保育目標を踏まえた各年齢ごとの年間指導計画、月案、週案、日案を立て、その計画に基づいて保育を実施した。また、実施後は評価及び振り返りを行い、次の目標に生かして保育を行った。

■運動遊びの推進

年少児以上には毎週、運動遊びの日を設け、運動機能の向上を目指した活動をした。なわとびや長距離散歩、マラソンなどを通して、体力向上をねらい実施した。

■食育の推進

おやつ作りやいもほり、みかん狩りなど、食に関する行事を通し、食べ物のありがたさや料理を作ること、また、作ってくれる人に感謝する気持ちを持つなど、食に関する関心を高めた。

また、食育指導では、栄養士や主任保育士により自分の体に必要な食品の種類や働きを教え、食事のバランスを考える事や食物やそれを作ってくれる人たちに感謝できる心を育てた。

また、だんご作りやおやつ作りなどを通し、直接食材に触れる事により感触などを楽しんだり、また、衛

生面の学びも出来た。

■環境活動

年長児は毎日ゴミ当番活動をし、各クラスや保育園内のゴミを収集する活動をした。

■縦割り保育（3～5歳児の縦割り保育）

異年齢の交流により、年下の子に対する思いやりや、年上の子に対する憧れなど、年齢差による社会性を育んだ。また、各行事に向けた準備等にも異年齢グループで積極的に取り組んだ。

■保護者との連絡・連携

①0～2歳児では連絡ノートにより毎日の保育状況や健康状態を伝え、家庭との連絡を密に行った。

3歳以上児では連絡帳を使用し、連絡がある場合に活用した。

また、各クラスのボードに毎日の活動内容や保護者への連絡等を掲示し伝達した。

②毎月、園だより、各クラスだよりや給食の献立を発行し配布した。

③送迎時には、その日の出来事や健康状態等を口頭にて伝えた。

④1～2月に各クラス3日間の保育参観や個々面談を行い、家庭と園との連携を深めた。

⑤玄関ホールには、年間の行事計画表や感染症等の注意、苦情解決の仕組み・第三者委員等の掲示をした。

⑥ホームページを都度更新し、保育活動等の報告を行った。

⑦「保護者の一日保育体験」を通じ、保育内容の共有と親業の推進に努めた。

⑧年末の大掃除や、もちつきなど、保護者の協力を頂き行った。

（3）平成29年度 主な年間行事報告

ほぼ年間行事計画通り行うことが出来た。（別紙：年間行事報告書の通り）

大きなケガがなく行えたことが何よりだった。

さらに、子どもたちが主体的に活動を行えるように援助していきたい。

（4）特別保育事業

■一時預かり保育事業状況（利用延べ人数）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 56 | 66 | 66 | 48 | 42 | 59 | 63 | 72 | 66 | 65 | 61 | 74 | 738 |

■延長保育事業状況（利用延べ人数）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 105 | 108 | 138 | 136 | 136 | 119 | 150 | 142 | 173 | 104 | 147 | 175 | 1633 |

（5）地域育児センター事業

例年と変わらない内容であった。まだまだ利用者数は少ないので、さらに周知していく必要がある。

| 事業名 | 内容 | 延べ人数 |
|----------|--|-------------------|
| 通常育児相談 | 電話、面接等により、保護者の抱える育児、子育てに関する問題に対し助言等を行った。 | 127名 |
| 在宅育児支援事業 | 未就園児の乳幼児を持つ保護者に対し、園舎、園庭を開放し、保育園の行事やイベント等への参加を通じ交流を行った。 ①ふれあいサロン ②園庭解放 週3日（火・木・土） 10:00~12:00,14:30~16:30 | ① 65名 ② 約 216名 |

(6) 職員の状況

■平成29年度初（平成29年4月1日現在）

| 区分 | 園長 | 事務局長 | 主任保育士 | 保育士 | 栄養士 | 調理員 | 事務員 | 医師 | 合計 |
|--------|----|------|-------|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 正規 | 1 | 1 | 1 | 8 | 2 | | | | 13 |
| 常勤的パート | | | | 6 | | | | | 6 |
| 短時間パート | | | | 7 | | 3 | 1 | | 11 |
| 嘱託 | | | | | | | | 2 | 2 |
| 合計 | 1 | 1 | 1 | 21 | 2 | 3 | 1 | 2 | 32 |

■平成29年度末（平成30年3月1日現在）

| 区分 | 園長 | 事務局長 | 主任保育士 | 保育士 | 栄養士 | 調理員 | 事務員 | 医師 | 合計 |
|--------|----|------|-------|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 正規 | 1 | 1 | 1 | 8 | 2 | | | | 13 |
| 常勤的パート | | | | 6 | | | | | 6 |
| 短時間パート | | | | 8 | | 3 | 1 | | 12 |
| 嘱託 | | | | | | | | 2 | 2 |
| 合計 | 1 | 1 | 1 | 22 | 2 | 3 | 1 | 2 | 33 |

*産休中1名含む

職員の入れ替わりが少なく安定した職員配置が出来た。

(7) 職員会議等の状況

計画的に行事などを行うためにも適宜話し合いを持ちながら進めた。

午睡中の45分間を使い各会議を行った。時間が短いことで集中して行うことが出来た。

ただ、参加していない職員への周知が徹底できていない部分もあった。

| 会議名 | 回数 | 内容 |
|---------|------|------------------------------|
| 朝礼 | 毎朝 | 毎朝の9時30分時点での報告、連絡及び職員体制等の確認 |
| 連絡会 | 2回/月 | 子どもの様子やクラスの状況等を報告、検討。 |
| 給食会議 | 1回/月 | 給食の実施について課題等の話し合い。アレルギー対応など。 |
| 職員会議 | 1回/月 | 行事の計画・反省等。 |
| 保育計画委員会 | 1回/月 | 各クラス1名の代表により毎月の保育計画を立てる。 |
| 研修企画委員会 | 1回/月 | 勉強会の企画運営、外部研修の計画 |

(8) 職員研修

■園内研修

◎毎月2回の連絡会で、子どもたちの様子やクラスの状態等を話し合い、全職員で情報の共有を行った。

◎勉強会として、毎月1回（2日に分けて）昼休みの45分間、テーマを決めて全職員が参加し保育の質の向上を目的に充実した勉強会が出来た。

| 勉強会内容 |
|-------------------------|
| 保育指針の読み合わせ、マニュアルの読み合わせ等 |

■外部研修：参加状況

| 実施月 | 内容 | 主催 | 参加者 |
|----------|---------------------|----------------|-----|
| 4月 | 神奈川県保育会事業大会 | 神奈川県保育会 | 6名 |
| 6・2月 | 新任保育士研修 | 保育センター | 1名 |
| 6・9月 | 3歳児保育研修 | 保育センター | 1名 |
| 6・9月 | 1歳児保育研修 | 保育センター | 1名 |
| 6月 | 4・5歳児保育研修 | 保育センター | 1名 |
| 7・9月 | 地域保健活動推進研修（アレルギー対応） | 保健福祉事務所 | 1名 |
| 7月 | 中堅保育士研修 | 保育センター | 1名 |
| 7・12月 | 保育士の育成研修 | 神奈川県保育会 | 1名 |
| 8月 | 乳幼児救急法研修 | 保育センター | 1名 |
| 9・10・11月 | インクルーシブ研修 | 保育センター | 1名 |
| 10月 | 人材マネジメント講座 | 全国社会福祉法人経営者協議会 | 1名 |
| 10月 | 安全と子どもの見守り | 保育センター | 1名 |
| 10・11月 | 0歳児保育研修 | 保育センター | 1名 |
| 11月 | 監事講座 | 全国社会福祉法人経営者協議会 | 1名 |
| 12・1月 | 社福の経営労務管理体制強化研修 | 神奈川県 | 1名 |
| 1月 | 子ども子育て支援セミナー | 福祉医療機構 | 1名 |
| 1月 | 労務管理セミナー | 全国社会福祉法人経営者協議会 | 1名 |
| 2月 | 保育事業経営セミナー | 全国社会福祉法人経営者協議会 | 1名 |
| 2・3月 | キャリアアップ研修 | 保育センター | 1名 |

*その他、伊勢原市保育協議会研修会、神奈川県保育士会、神奈川県保育会等の研修会に参加した。

(9) 実習生、ボランティア、職場体験等受け入れ状況

保育士不足の中、将来保育現場を担う実習生をさらに積極的に受け入れて行く必要がある。

| 保育実習生 | 看護実習生 | 職場体験 | 夏期保育体験 | 保育ボランティア | ふれあい体験 |
|-------|-------|------|--------|----------|--------|
| 8名 | 14名 | 7名 | 6名 | 1名 | 2名 |

3. 保健衛生

■園児

| | |
|--------|--|
| 毎月 | 身体測定（身長・体重） 毎月、月始めに実施し、自分の体の成長に気づき、喜びを共有出来た。 |
| 6月 | 4、5歳児尿検査実施（特に問題なし） |
| 5月、2月 | 内科検診実施 園医に内科検診をしていただく中で、自分の体に関心を持ち、健康の大切さを理解して行った。 |
| 5月、11月 | 歯科検診実施 虫歯にならないための歯みがきの大切さを指導し、また、園医に歯科検診をしていただく中で歯磨きやうがいの大切さを知り、歯を大切にすることを指導した。 |
| 入園時 | 入園児健康診断の実施（ただし、入園後2ヶ月以内に園実施の内科検診がある場合は、それを持って入園児健康診断とする） |

■職員

| | |
|----|-----------------------|
| 毎月 | 毎月2回 全職員対象で細菌検査を実施 |
| 随時 | 年1回の健康診断実施 |
| 随時 | インフルエンザ等の予防接種の推奨（10月） |

■施設

| | |
|-------|---|
| 5月、9月 | 園内消毒（害虫駆除）の実施 食品衛生法の下、園舎内の害虫駆除を業者にて行った。また、園庭の樹木消毒も行い、衛生管理に取り組んだ。 |
| 12月 | 貯水タンクの清掃及び水質検査の実施 |
| 4月、9月 | 秦野保健所による衛生検査の実施（特に指摘事項はなかった） |

4. 安全管理

| | |
|------------------------|--|
| 呼吸チェック | 0・1歳児は、午睡中15分間隔で呼吸チェックしSIDSの防止に努めた その他のクラスは午睡状態を適宜観察した |
| アレルギーチェック | 食物アレルギーのある児童については、次月の給食献立を保護者にチェックして頂き、アレルギー物質の除去、または代替え食にて対応した。 また、給食提供時には、調理員、クラス担任のチェックを施し再確認した |
| 安全チェック | 月に1度、「安全チェックリスト」にて園舎内外の安全面を確認した |
| 避難訓練 （毎月） | 毎月火災や地震などを想定し、避難訓練計画に乗っ取り実施した いろいろな災害を想定し、自分の身を守る方法を教えると共に、防災の意義を持たせ、実施後の見直しと発展を全職員で取り組んだ。 |
| 防犯訓練 5月 9月 1月 | 年に3回不審者回避等の訓練を行った 不審者に遭遇した場合の対応方法（子ども向け）をDVDを見ながら学んだ。また、正面玄関や園庭からの不審者進入に対し、児童の安全を第一義とした防犯避難訓練を実施し、実施後の見直しと発展を全職員で取り組んだ。 |
| 交通安全指導 （各月実施） | 各月で交通ルール等の指導をした 散歩時に信号機の見方やルールを教えたり、各クラスで紙芝居や絵本を使って交通安全の大切さを学んだ。 |
| 消防設備点検 | 5月、11月に、総合警備保障に委託して実施した |

5. 地域交流

大田小学校の運動会（かけっこ）に参加したり、低学年とのお店屋さんごっこに招待を頂き楽しんだ。また、年度の終盤には、大田小学校に「ようこそねんちょうさん」と題し、近隣の幼稚園児と共に招待され、一年生と一緒に校内を案内してもらったり、教室や校庭で遊んだりした。

近隣の老人ホーム（バーデンライフ）に、運動会の招待状を持って行き、運動会当日にも数名の方がみえ楽しんで下さった。

また、伊勢原市教育センター主催の「地域教育機関等連絡協議会」（中学校学区4グループでの協議）が年4回ほど行われ、地域との連携について話し合った。

6. 苦情解決等

今年度は小さな要望等はあるが、大きな苦情となるようなものはなかった。保育内容や職員の態度、行事等に関する保護者アンケートを実施した（2月）。回収率47%であった。内容的には要望や指摘事項もあったが全体的に満足いただけている結果であった。

7. 施設整備等

- 乳児クラス前のテラスのラバーを交換した。
- AED の保証期間が過ぎたので新しい AED に交換した。

その他にも、長年使っている設備があるため、計画的に交換していきたい。

平成29年度
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

事業報告書

(施設 比々多保育園)

社会福祉法人 誠和福社会

平成29年度事業報告書

社会福祉法人 誠和福祉会
保育所 比々多保育園

1. 概要

事業計画の保育理念、保育の基本方針並びに保育目標を踏まえて計画した事業を推進し、子どもたちが健康、安全で、情緒の安定した生活が出来る環境を整え、健全な心と体の発達を図る保育の充実に努め、また、各行事も概ね予定通り行うことが出来た。

子育て支援については、一時預かり事業や施設見学・園庭解放・未就園児の保育園行事への参加等を行う。保護者支援としては、懇談会や個々面談等、情報交換や情報提供を積極的に行い保護者との信頼関係を深めた。また、地域交流としては、近隣の小学校等と連携を図り、地域の事業所の協力のもと保育活動の充実に努めた。

2. 保育園の運営

(1) 児童の処遇

■定員 120名

■開所時間 7:00~19:30 (有料延長保育時間7:00~7:30、18:30~19:30)

■短時間保育時間 8:30~16:30

標準保育時間 7:30~18:30

■年間入所児童数

年度の当初は定員を下回る入所児童数であった。0歳児の途中入所が多く、職員を増やして対応した。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 0歳児 | 4 | 5 | 8 | 9 | 9 | 9 | 11 | 11 | 12 | 12 | 12 | 11 | 113 |
| 1歳児 | 23 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 287 |
| 2歳児 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 | 22 | 21 | 268 |
| 3歳児 | 20 | 21 | 21 | 21 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 243 |
| 4歳児 | 25 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 311 |
| 5歳児 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 264 |
| 合計 | 116 | 120 | 123 | 124 | 123 | 124 | 126 | 126 | 127 | 127 | 126 | 124 | 1486 |

(2) 保育内容

保育理念、保育の基本方針並びに保育目標を踏まえた各年齢ごとの年間指導計画、月案、週案、日案を立て、その計画に基づいて保育を実施した。また、実施後は評価及び振り返りを行い、次の目標に生かして保育を行った。

■外部講師による指導

◎0.1.2歳児は、ふれあい遊びとして、リズム遊び・赤ちゃん体操・わらべ歌・絵本の読み聞かせなど

◎3.4.5歳児は、音楽教室として、リズム遊び・歌(手話)・楽器遊びなど

◎4.5歳児は、体育教室として跳び箱・マット・鉄棒・縄跳び・ボールなどを定期的に行い、保育参加や生活発表会で披露し、保護者と共に子どもの成長・発達を喜び合った。また、5歳児は、不定期ではあるが、お茶会を体験し日本古来の伝統に触れたり、異年齢(3~5歳児)で雰囲気を楽しんだ。

■食育の推進

野菜作りやクッキング・バイキング給食など、食べ物のありがたさや料理を作ること、また、作ってくれる人に感謝する気持ちを持つなど、食に関する関心を高めた。

また、食育指導では、栄養士や担任保育士により自分の体に必要な食品の種類や働きを教え、食事のバラ

ンスを考える事、食事のマナーや食物を作ってくれる人たちに感謝できる心を育てた。

■縦割り保育（3～5歳児の縦割り保育）

異年齢の交流により、年下の子に対する思いやりや、年上の子に対する憧れなど、年齢差による社会性を育んだ。内容として年に数回“わくわくデー”と称し、園外保育やどろんこ遊び・ハロウィン・クッキング・ミニオリンピック・茶話会など楽しい活動を計画した。

■保護者との連絡・連携

- ①0～1歳児では連絡ノートにより毎日の保育状況や健康状態を伝え、家庭との連絡を密に行った。
2歳以上児ではおたより帳を使用し、連絡がある場合に活用した。
また、各クラスのボードに毎日の活動内容や保護者への連絡等を掲示し伝達した。
- ②毎月、園だより、各クラスだよりや給食の献立を発行し配布した。
- ③送迎時には、その日の出来事や健康状態等を口頭にて伝えた。
- ④保育参観や懇談会・個々面談を行い、家庭と園との連携を深めた。
- ⑤玄関ホールには、感染症等の状況報告や注意喚起、職員室前に苦情解決の仕組み・第三者委員等の掲示をした。
- ⑥毎月誕生会には、誕生児の保護者を招き共に祝う。また、4.5歳児の保護者には試食会に招く。

（3）平成29年度 主な年間行事報告

ほぼ年間行事計画通り行うことが出来た。（別紙：年間行事報告書の通り）
大きなケガがなく行えたことが何よりだった。
さらに、子どもたちが主体的に活動を行えるように援助していきたい。

（4）特別保育事業

■一時預かり保育事業状況（利用延べ人数）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 39 | 39 | 52 | 37 | 49 | 46 | 70 | 76 | 81 | 83 | 87 | 89 | 748 |

■延長保育事業状況（利用延べ人数）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 73 | 74 | 83 | 73 | 102 | 103 | 90 | 100 | 85 | 43 | 60 | 62 | 948 |

（5）地域育児センター事業

育児相談件数としては少ないが、施設見学を希望し、子どもの発育・発達や園生活に関心を示す。保育園が実施している地域育児センター事業について、広く周知していく必要がある。

| 事業名 | 内容 | 延べ人数 |
|----------|---|-------|
| 通常育児相談 | 電話、面接等により、保護者の抱える育児、子育てに関する問題に対し助言等を行った。 | 59名 |
| 在宅育児支援事業 | 未就園児の乳幼児を持つ保護者に対し、園庭を開放し、保育園の行事に誘い交流を行った。 ①園庭解放 平日 10:00～12:00 | ①約10名 |

(6) 職員の状況

■平成29年度初（平成29年4月1日現在）

| 区分 | 園長 | | 主任保育士 | 保育士 | 栄養士 | 調理員 | | 医師 | 合計 |
|--------|----|--|-------|-----|-----|-----|--|----|----|
| 正規 | 1 | | 1 | 10 | 2 | | | | 14 |
| 常勤的パート | | | | 5 | | | | | 5 |
| 短時間パート | | | | 9 | | 3 | | | 12 |
| 嘱託 | | | | | | | | 2 | 2 |
| 合計 | 1 | | 1 | 24 | 2 | 3 | | 2 | 33 |

■平成29年度末（平成30年3月1日現在）

| 区分 | 園長 | | 主任保育士 | 保育士 | 栄養士 | 調理員 | | 医師 | 合計 |
|--------|----|--|-------|-----|-----|-----|--|----|----|
| 正規 | 1 | | 1 | 10 | 2 | | | | 14 |
| 常勤的パート | | | | 6 | | | | | 6 |
| 短時間パート | | | | 9 | | 3 | | | 12 |
| 嘱託 | | | | | | | | 2 | 2 |
| 合計 | 1 | | 1 | 25 | 2 | 3 | | 2 | 34 |

職員の入替わりが少なく安定した職員配置が出来た。

(7) 職員会議等の状況

計画的に行事などを行うためにも適宜話し合いを持ちながら進めた。

午睡中の45分間を使い各会議を行った。時間が短いことで集中して行うことが出来た。

ただ、参加していない職員への周知が徹底できていない部分もあった。

| 会議名 | 回数 | 内容 |
|-----------|------|--|
| 朝礼 | 毎朝 | 毎朝の9時30分時点での報告、連絡及び職員体制等の確認 |
| 連絡会 | 2回/月 | 子どもの様子やクラスの状況等を報告、検討。 |
| 給食会議 | 1回/月 | 給食の実施について課題等の話し合い。アレルギー対応など。 |
| 職員会議 | 1回/月 | 行事の計画・反省等。 |
| クラス会議 | 数回/年 | クラス内で、連絡会・職員会議等での確認事項や子どもへの関わりについての話し合い。 |
| 以上児・未満児会議 | 数回/年 | 各クラス1名の代表により、行事等の確認。 |

(8) 職員研修

■園内研修

◎毎月2回の連絡会で、子どもたちの様子やクラスの状態等を話し合い、全職員で情報の共有を行った。

◎勉強会として、年度後半より毎月1回（4日に分けて）昼休みの45分間、テーマを決めて全職員が参加し保育の質の向上を目的に充実した勉強会が出来た。

さらに若い職員や経験の少ない職員からの発言や意見などが出てくる雰囲気にしていく必要がある。

| 勉強会内容 |
|--|
| 研修報告等、行事の見直しについて、マニュアルの読み合わせ、保育指針の読み合わせ等 |

■外部研修：参加状況

| 実施月 | 内容 | 主催 | 参加者 |
|---|---------------------------------|----------------|-----|
| 4月 | 神奈川県保育会事業大会 | 神奈川県保育会 | 5名 |
| 7月 | 第三者評価研修 | 神奈川県社会福祉協議会 | 1名 |
| 7月 | 地域保健活動推進研修会 | 平塚保健福祉事務所 | 1名 |
| 7月 | 関東ブロック研究大会 | 神奈川県保育会 | 1名 |
| 10月 | 保育所給食研修会 | 伊勢原市子ども部子ども育成課 | 2名 |
| 10月 | 保育園利用者相談室研修会 キャリアアップ① | 神奈川県保育会 | 1名 |
| 10月 | 安全と子どもの見守り キャリアアップ② | 保育センター | 1名 |
| 11月 | 普通救命研修会 | 伊勢原市保育協議会 | 1名 |
| 11月 | 年齢発達に応じた運動力遊びの理論と実践 キャリアアップ③ | 神奈川県保育会 | 1名 |
| 12月 | 組織としての保育所と職員の育成 キャリアアップ④ | 神奈川県保育会 | 1名 |
| 1月 | 発達障害の子どもへの理解と支援 | すこやか園 | 2名 |
| 1月 | 保育所給食研修会 | 伊勢原市子ども部子ども育成課 | 2名 |
| 2月 | 苦情解決の取り組みⅡ | 神奈川県保育会 | 1名 |
| 3月 | 保育所給食研修会 | 伊勢原市子ども部子ども育成課 | 2名 |
| *その他、伊勢原市保育協議会研修会、神奈川県保育士会、神奈川県保育会等の研修会に参加した。 | | | |

(9) 実習生、ボランティア、職場体験等受け入れ状況

保育士不足の中、将来保育現場を担う実習生をさらに積極的に受け入れて行く必要がある。

| 保育実習生 | 看護実習生 | 職場体験 | 夏期保育体験 | インターシップ* | |
|-------|-------|------|--------|----------|--|
| 0名 | 10名 | 8名 | 20名 | 3名 | |

3. 保健衛生

■園児

| | |
|--------|--|
| 毎月 | 身体測定（身長・体重） 毎月、月始めに実施し、自分の体の成長に気づき、喜びを共有出来た。 |
| 6月 | 4、5歳児尿検査実施（特に問題なし） |
| 5月、10月 | 内科検診実施 園医に内科検診をしていただく中で、自分の体に関心を持ち、健康の大切さを理解して行った。 |
| 5月、10月 | 歯科検診実施 虫歯にならないための歯みがきの大切さを指導し、また、園医に歯科検診をしていただく中で歯磨きやうがいの大切さを知り、歯を大切にすることを指導した。 |
| 入園時 | 入園児健康診断の実施（ただし、入園後2ヶ月以内に園実施の内科検診がある場合は、それを持って入園児健康診断とする） |

■職員

| | |
|----|-----------------------|
| 毎月 | 毎月2回 全職員対象で細菌検査を実施 |
| 随時 | 年1回の健康診断実施 |
| 随時 | インフルエンザ等の予防接種の推奨（10月） |

■施設

| | |
|-----------|---|
| 5月、9月 | 園内消毒（害虫駆除）の実施 食品衛生法の下、園舎内の害虫駆除を業者にて行った。また、園庭の樹木消毒も行い、衛生管理に取り組んだ。 |
| 6月、10月、2月 | 給食雑排水槽汲出清掃及び汚泥分析 |
| 4月、9月 | 秦野保健所による衛生検査の実施（特に指摘事項はなかった） |
| 11月 | 園舎外回りの垣根の刈り込みを行う（2日間） |

4. 安全管理

| | |
|------------|---|
| 呼吸チェック | 0・1歳児は、午睡中15分間隔で呼吸チェックしSIDSの防止に努めた。 その他のクラスは午睡状態を適宜観察した。 |
| アレルギーチェック | 食物アレルギーのある児童については、次月の給食献立を保護者にチェックして頂き、アレルギー物質の除去、または代替え食にて対応した。 また、給食提供時には、園長（又は主任）・調理員・クラス担任のチェックを施し再確認した。 |
| 安全チェック | 月に1度、「安全チェックリスト」にて園舎内外の安全面を確認した。 |
| 避難訓練（毎月） | 毎月火災や地震などを想定し、避難訓練計画に乗っ取り実施した。 いろいろな災害を想定し、自分の身を守る方法を教えると共に、防災の意義を持たせ、実施後の見直しと発展を全職員で取り組んだ。 |
| 防犯訓練 3月 | 年に1回不審者回避等の訓練を行った。 正面玄関や園庭からの不審者進入に対し、児童の安全を第一義とした防犯避難訓練を実施し、実施後の見直しと発展を全職員で取り組んだ。 |
| 交通安全指導（毎月） | 毎月交通ルール等の指導をした。 散歩時に信号機の見方やルールを教えたり、各クラスで紙芝居や絵本を使って交通安全の大切さを学んだ。 |
| 消防設備点検 | 9月、3月に、丸興商会に委託して実施した。 |

5. 地域交流

- ◎比々多小学校の運動会（かけっこ）に参加する。また、年度末に、比々多小学校の「ようこそねんちゃんさん」に招待され、近隣の幼稚園児と共に体育館での“はじめの会”や一年生に校内を案内してもらったり、教室でおりがみなどして遊んだ。
- ◎7月七夕、県立塔の山公園やJAひびた（あふり～な）より依頼を受け、七夕飾りを製作し飾る。
- ◎10月ハロウィン、近隣の事業所に（予め日程や時間を相談）仮装した園児が訪問して「トリック オア トリート」と声を掛け、お菓子を頂く。併設の児童コミュニティーの児童とも触れ合う。
- ◎10月買い物ごっこ、JAひびた（あふり～な）へ、店内の見学や模擬の買い物を実施する。
- ◎11月感謝の日、ハロウィンや買い物ごっこのお礼に、事業所（4カ所）に園児手作りの感謝状を渡す。
- ◎1月どんど焼き、比々多地区の民生委員を初めとする方々とだんご飾りを体験する。同日、お礼に年長児がわらべ歌や遊戯など披露し、一緒に触れ合う。
- ◎伊勢原市教育センター主催の「地域教育機関塔連絡協議会」（中学校学区4グループでの協議）が年4回ほど行われ、地域との連携について話し合っている。

6. 苦情解決等

今年度は小さな要望等はあるが、大きな苦情となるようなものはなかった。

(例) 子ども同士のトラブルから、親同士の謝り方について

職員の言動について(言い方がきつい・挨拶をしない・不適切な言葉等)

7. 施設整備等

◎各クラスのフローリングの部分的な汚れ・めくれを修理する。

◎クラス出入りロドアの開閉の調整(3歳児保育室・一時保育室)

◎給食室ガス湯沸かし器故障のため、新規に取り替えた。

◎職員室天井水漏れ(2階児童コミュニティーの配管漏れ)があり、天井張り替え等の工事が入る。

◎正面玄関自動ドアの配線故障があり、他の配線をつないで対応している。

◎正面玄関通り庭、天井ガラスのひび割れによるガラス交換とパッキン交換の工事が入る。